

放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表：2023年 4月 17日

事業所名 ほどきのとっと

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・子ども達と一緒に活動する中で密になる場面は少ない。	・個室スペースが1つあっても良いかも
	2 職員の配置数は適切である	2	2			・基本的には適切であると感じる。急用等で人数が減ると上手く手が回らない時もある。 ・もう少しゆとりがあれば良いと思う時と、充足していると思う時と両方ある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		・段差が少なく、柱等にもクッションが貼り付けてある。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・活動後には振り返りがあり、職員間で業務の内容についてやりとりがある。 ・理念共有や毎日の振り返りがこれに当てはまる。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・本アンケートのような形式で保護者へもアンケートを行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・公開している(する予定)。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・適宜研修のお知らせが職員内で共有されている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・外部の施設と連携し、計画を作成している。	・丁寧な分析に努めたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・遠足などのイベントを企画している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1	1		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			・サービス計画において、集団活動への意識はあまり持っていない。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				・あった出来事を正しく記載するより、支援者の視点、主観を大事にしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	園や学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1			・クリニックとの連携を随時図る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			・つながっているケースもあるが、幼児期については保護者からの聞き取りが多い。
	24	園から学校、または放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供・共有する等している	3	1			・必要があればする気持ちはあるが、今のところケースがない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1		・他の事業所の活動等が知りたいと思うことはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		1		・訪問支援について、仕組み作りをされているようなので、勉強したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	1		・保護者も子どもも元気になるしてほしいので、傾聴と共感は大変にしたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				・できることはしたい!と思っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				・スタッフ間で連携し、一人で抱えることのないように、対応を考えていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1			・年間を通じて出すようにしているが、最近では出せてない…。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2			・図書室を開放する準備をすすめたい(貸し出しシステムを考える)。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		1		・身体拘束ではないが、緊急性に応じて対応を考えている。 ・安全面に配慮して、刃物やカッターナイフが手に届くところにならないように心掛ける。周知徹底する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			・特にアナフィラキシーショックを持つ子どもについては、救急カードの記載、外出時に持っていく等を行い、安全に務めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				